

2019年3月29日

わが国によるシップリサイクル条約締結について

一般社団法人 日本船主協会
会長 武藤光一

わが国政府は3月27日、わが国が条約の策定に大きく貢献したシップリサイクル条約に加入しました。世界有数の海洋国家であるわが国の条約加入は、条約発効に向けて大きな前進をもたらすものとして、世界の海運船主団体や労働組合、ヤード事業者から相次いで多くの歓迎メッセージが寄せられおり、アジア船主協会からも添付のメッセージが発信されています。当協会としても、3月26日の定例記者会見での指摘のとおり、わが国のイニシアチブにより早期の条約発効への道筋が明確となり、既に批准手続きに着手している諸国の対応を加速させる効果も期待されるわが国の条約締結を大いに歓迎します。

国際海運の規制は国際海事機関（IMO）による統一ルールによってなされるべきですが、シップリサイクルについては、地域独自の規制である欧州ルールが既に発効しています。持続可能なシップリサイクルの実現には、主要シップリサイクル国の環境・安全適合水準の底上げが促進され、地球規模で地域バランスのとれたシップリサイクルヤードが分布することが重要ですが、その達成には唯一の国際ルールであるシップリサイクル条約の発効が欠かせません。欧州ルールとのダブルスタンダード化が顕著にならぬよう、シップリサイクル条約の早期発効が望まれます。条約発効の鍵を握る中国・インド両国による早期批准を切望します。

アジア船主協会シップリサイクル委員会は、「良き世界市民の船主として、地球規模で環境・安全の改善に貢献するべく条約認定ヤードあるいは認定取得の過程にあるヤードを優先的に利用しシップリサイクルを進めることを再徹底する旨宣言する」としています。条約採択10年の節目である本年、条約の産みの親の一人としてリードしてきたわが国の加入が発効の牽引役を担うことは間違いありません。当協会としても世界的なヤード改善の動きを後押しすべく、従前から定期的に行っているインドのヤード視察に加え4月にはバングラデシュのヤード視察を予定しており、また、5月には当協会主導で世界の海運船主団体による協議の開催を予定しています。当協会はシップリサイクル条約の早期発効に向けて、引き続き官民関係者一体となって積極的に関係諸国に働きかけていきます。

以上

28 March, 2019

The ASA Welcomes Japan's Ratification of the HKC

Japan, one of the leading maritime nations in the world, has ratified the Hong Kong International Convention (known as HKC and adopted in 2009) for the Safe and Environmentally Sound Recycling of Ships.

The HKC covers the design, construction, operation and maintenance of ships, and preparation for ship recycling in order to facilitate safe and environmentally-sound recycling without compromising the safety and operational efficiency of ships. Under the HKC, ships to be sent for recycling are required to carry an inventory of hazardous materials, specific to each ship. Ship recycling yards are required to provide a "Ship Recycling Plan" that specifies the manner in which each ship will be recycled, depending on its particulars and its inventory.

The Asian Shipowners' Association (ASA) warmly welcomes Japan's ratification of the HKC. Japan has been actively promoting for some time now the ratification and early enactment of the HKC. There have been significant improvements in recycling facilities around the world and the ASA firmly believes that now is the time for action. The ASA urges both India and China to ratify the HKC in the near future, and it is our strong desire that all parties recognize and actively promote earliest possible ratification by both India and China as they are the key countries for meeting all three of the basic conditions for final enactment of the HKC.

Shipping is an international industry and needs geographically-balanced green recycling yards throughout the world. Geographically-balanced ship recycling can only be achieved by international regulation. It is felt that the HKC is the only internationally- recognized instrument that can achieve this objective.

On the tenth anniversary of the adoption of the HKC, the ASA is convinced of steady progress towards early enactment of the HKC. The ASA welcomes the recent series of ratification by several countries. It also notes that a number of other countries are in the process of ratification and Japan's approval will help to expedite the early enactment of the HKC.

The majority of ocean-going vessels are built in Asia and eventually return to Asia at the end of their life. ASA strongly recommends its members to send ships to HKC-compliant yards or yards in the process of being certified in order to fulfill their obligation as good citizens who are strongly and firmly committed to the principles of Corporate Social Responsibility (CSR). Being in the center of Asian shipping, ASA and its members will continue to be actively involved in green ship recycling.

アジア船主協会(ASA)は日本の香港条約(HKC)締結を歓迎

世界の主要な海運国の一つである日本が「2009年の船舶の安全かつ環境上適正な再資源化のための香港国際条約(HKC)」を締結した。

HKCは、船舶の安全や運航効率を安易な妥協をすることなく、安全かつ環境上適正な船舶リサイクルを促進することを目的として、船舶の設計、建造、運航、保守および船舶リサイクルの準備を対象とする。HKCでは、リサイクルされる船舶は、船舶ごとに固有の有害物質インベントリ(船舶に存在する有害物質等の概算量と場所を記載した一覧表)を保持することが求められる。船舶リサイクル施設は、本船明細やインベントリに基づく各船舶のリサイクル方法を明記した「船舶リサイクル計画」を作成する必要がある。

ASAは、日本のHKC締結を歓迎する。日本は、予てより相当の期間、諸国のHKC批准促進、発効環境の整備に積極的に務めてきた。世界中でリサイクル施設が著しく改善してきた今こそ行動すべき時とASAは確信している。ASAはインドと中国の両国が近々に批准することを促す。ASAは、全ての関係者がインドと中国の両国の批准が条約発効3要件充足の鍵であることを認識し、積極的に早期批准を働きかけることを強く切望する。

海運は国際的な産業であり、環境適合ヤード所在地は地理的にバランスが取れていることが必要である。地理的バランスを持ったシップリサイクルは、国際条約によってのみ達成可能であり、HKCがこの目的を達成出来る唯一の国際条約であると考ええる。

HKC採択から10周年を迎え、ASAはHKC早期発効に向けての着実な前進がなされていることを確信する。ASAは最近の諸国による一連の条約批准を歓迎する。また、複数の国が批准手続きの過程にあり、日本の締結がHKC早期発効を加速させる一助となると考える。

外航船の大半はアジアで建造され、その最期もアジアで迎える。ASAは、メンバー船協に対して、企業の社会的責任を果たす良き世界市民の船主として地球規模で環境・安全の改善に貢献するべくHKC認定ヤードあるいは認定取得の過程にあるヤードの優先使用を強く推奨する。アジアの海運の中心で、ASAとそのメンバー船協は環境に配慮したリサイクルに積極的に関わっていく。
